

## 令和2年度 家中小学校運営基本方針の振り返り

### 1 本年度の学校運営の基本方針

#### コロナに負けない学校づくりの実現

### 2 実践内容

#### 1 子どもの安心感を高める。

- ・日常的な教育相談を実施する。
- ・感染拡大（縮小）状況を見据えながら、楽しい授業づくり・学級づくりを行う。
- ・感染拡大（縮小）状況を見据えながら、地域の方との交流を促進する。

#### 2 子どもを感染症から守る。

- ・「新しい生活様式」の定着を図る。
- ・家庭と連携し、子どもたちの健康状態を把握する。
- ・校内で感染が見られた場合の危機管理体制をPTAや学校運営協議会と連携して構築する。

#### 3 都賀地区小中学校や地域と連携する。

- ・ホームページや学校・学級だよりをとおして、学校の取組を発信する。
- ・都賀地区小中一貫教育校長部会・教頭部会・教務主任部会で綿密な情報交換を行う。
- ・必要に応じて、地域の方のボランティア協力を募る。

### 3 振り返り

#### (1) 「子どもの安心感を高める」について

○教育相談週間を2回行いました。また、休校明け直後はとくに児童の様子を観察し、不安なことがあったらすぐ相談できるようにしました。その結果、児童はおおむね安心して登校できたと思います。また、コロナ感染が心配で登校させない家庭はありませんでした。

○楽しい授業づくりについては、児童の7月と12月のアンケートで「友だちといっしょけんめい話し合い、発表しています」(2)が6ポイント増え、授業参加が望ましい方向に向いています。

△一方で「私のクラスの係活動は楽しいです」(14)は4ポイント下がってしまいました。しかし、89%の児童が「よくあてはまる」「まあまああてはまる」と答えており、楽しく学級での生活を送れていると考えます。

▲コロナ感染症の心配から、地域の方との交流は限定的なものとなりました。今後も交流の仕方を慎重に考えていきます。

#### (2) 「子どもを感染症から守る」について

○児童の7月と12月のアンケートで「私は、けがしないように、病気や熱中症にかからないようにしています」(12)が1ポイント増えました。

○朝の体調チェック、うがい用お茶やマスクの準備など、家庭の協力も得ることができました。

○危機管理体制では、感染症予防についての情報を会長さんやPTA会長さんに必要に応じてお知らせしてきました。

(3) 「都賀地区小中学校や地域と連携する」について

- コロナの現状や対策について、学校だより・ホームページ・メールを活用し、情報発信を行ってきました。
- 毎月行われる都賀地区校長会では、各校のコロナ対策について毎回情報交換を行い、それを参考に各校とも学校運営を行ってきました。
- 教頭部会や教務主任部会でも情報交換を行いました。
- ▲コロナ対策についての地域の方やPTAの協力は、感染予防を第一に、協力要請を見送りました。PTAからの協力申出はありがたかったです。

※コロナ対応は不確定な要素が多く、拡大防止の観点を第一に、できることをできる範囲で行ってきました。校内でコロナ感染拡大は見られませんでした。

4 来年度の学校運営基本方針策定の方向性

- ・都賀地区小中学校は、栃木市教育委員会の学力向上研究指定を受けている。コロナ対応は本年度を基本として継続しつつ、学力向上についての内容で基本方針を策定する。